

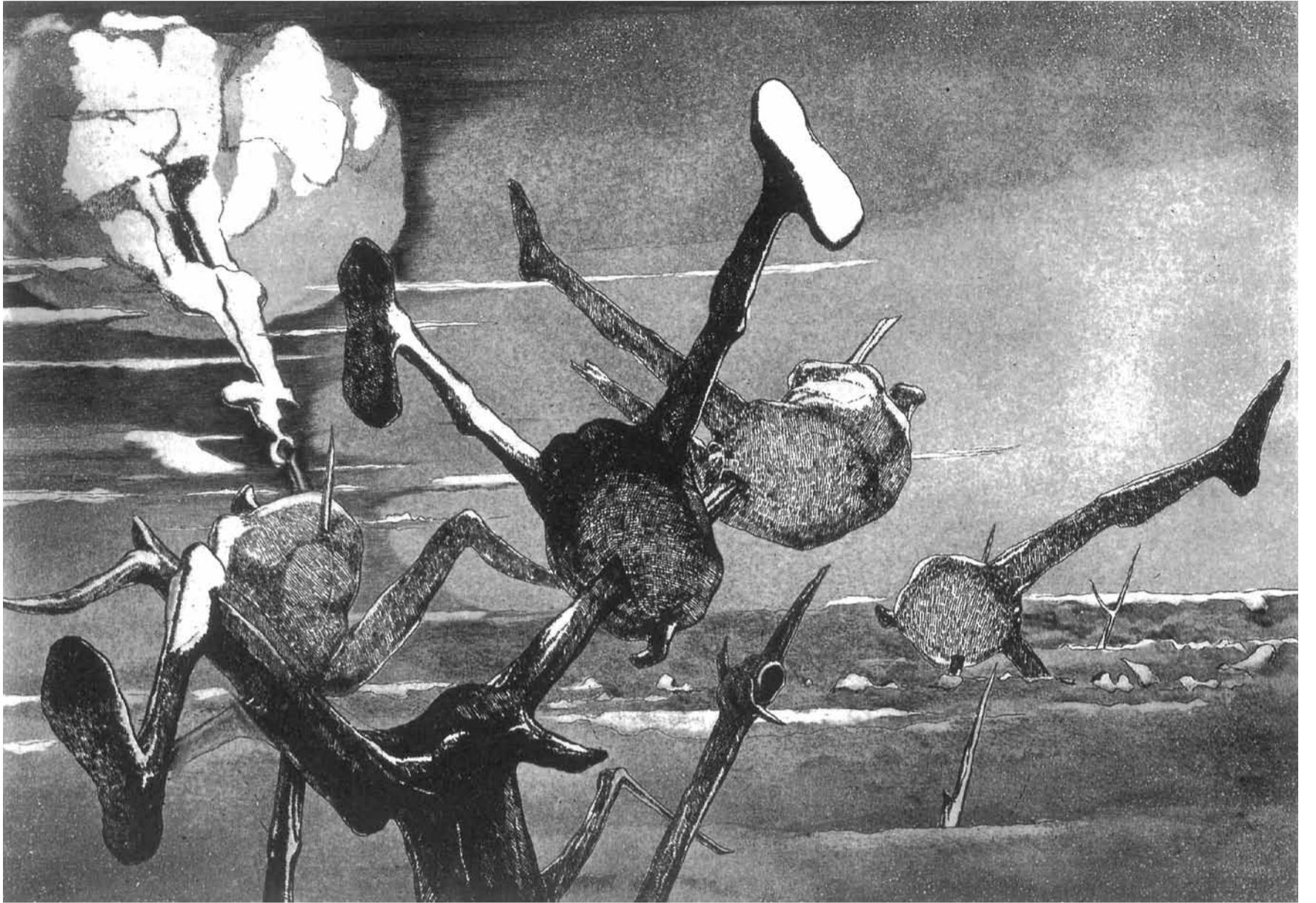
2015-12-15
No.971 250円

思想運動

活動家集団 思想運動

発行・小川町企画 〒113-0033 東京都文京区
本郷3の38の10さかえビル2階 ☎03-3818-
6671 FAX03-3818-3199 (郵便振替)00190-0-758235
小川町企画・関西連絡先 ☎080-4700-6461
HP <http://www.shiso-undo.jp/>
購読料:年間6,000円 半年3,000円(送料共)

浜田知明氏(一九一七年)が、二歳で入隊した熊本歩兵部隊は中国山西省に派兵された。(風景は、そこで日本軍が中国の人びとに
対して行なった残虐行為を告発した作品である。石川逸子氏(一九三三年)の訴えは、日本敗戦後五〇年の一九九五年に書かれた。
芸術の分野で、日本軍国主義の加害責任を一貫して追及する二人の諸作品のなかから掲載させていただいた。
石川逸子氏の新著『戦争と核と詩歌 ヒロシマ・ナガサキ・フクシマそしてヤスクニ』はスペース伽耶から刊行されている。【編集部】



浜田知明<風景>(1954年)

訴え 石川逸子

「兵隊とはなにか。

ニンゲンでなくなることです。

殺すか。殺されるか。それだけ。

こいびとの顔など浮かばない。」

(半世紀まえ兵士だったひとの言葉は

電波には載らない

ビルの一室で語る言葉は

泡になるのだろうか)

「それでも。突き殺したあとは。

実に。イヤな気持ちになります。

誰とも口を利きたくない。」

(半世紀まえ兵士だったひとの言葉は

新聞にも載らない

ビルの一室で語る言葉は

泡になるのだろうか)

「戦争にはルールはない。

風向きを見て毒ガスも使いました。

人を殺すのが。仕事ですから。」

(半世紀まえの兵士はいま 七十七歳

ビルの下の渋谷の歩道には

体格良い若者たちが

娘たちとさんざめき溢れ)

「敵をつかまえば。かならず拷問。

火あぶり。仰向けにして鼻から水を垂らす。

いつもやっています。それが戦争です。」

(聴いてしまった雲が

柔らかな耳をさがして

春の空を渡っていくのを見た)

——1995・3——

●今号のおもな内容●

- <沖縄> 「代執行」訴訟第1回口頭弁論における翁長知事冒頭陳述 …… 3面
- <政治> 秘密保護法違憲訴訟で東京地裁が不当判決(山口正紀) …… 4面
- <労働> 労働者通信(郵政)＝闇夜のマイナンバー配達(土田宏樹) …… 4面
- <国際> K K E 声明＝危険な帝国主義の計画からただちに離脱を …… 6面

『思想運動』『社会評論』読者拡大運動実施中！

- ☆読者になっていただけそうな方をご紹介ください。
- ☆新しいリーフレットをお知り合いにお渡しください。
- ☆同封のアンケートハガキにご協力をお願いします。